

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月30日

上場会社名 積水化学工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4204 URL <https://www.sekisui.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 敬太  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 上脇 太 TEL 03-6748-6467  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切り捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	923,931	1.3	65,834	5.4	72,814	△0.8	58,432	10.7
2023年3月期第3四半期	912,231	8.8	62,466	8.7	73,427	16.9	52,802	314.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 79,511百万円 (30.6%) 2023年3月期第3四半期 60,883百万円 (839.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	137.22	—
2023年3月期第3四半期	120.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,252,474	764,720	58.8
2023年3月期	1,228,131	732,525	57.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 736,514百万円 2023年3月期 705,026百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	29.00	—	30.00	59.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	36.00	71.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,262,300	1.6	95,000	3.6	103,000	△1.2	75,000	8.3	177.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、【添付資料】P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	448,507,285株	2023年3月期	456,507,285株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	27,121,223株	2023年3月期	27,311,919株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	425,833,534株	2023年3月期3Q	436,828,518株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2023年10月30日に公表いたしました連結業績予想は、通期について本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
3. 参考資料	14
(参考資料 ー 1) 2024年3月期 第3四半期連結累計期間実績	14
(参考資料 ー 2) 2024年3月期 通期見通し	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①全社の概況(2023年4月1日～12月31日)

売上高9,239億円(前年同期比+1.3%)、営業利益658億円(同+5.4%)、経常利益728億円(同△0.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益584億円(同+10.7%)

当第3四半期連結累計期間は、国内の新築住宅市況低迷により住宅受注棟数が減少しましたが、自動車生産など一定の回復が見られる中、高付加価値品の販売拡大に加え、為替の効果もあり、売上高は過去最高を更新しました。

営業利益は、高付加価値品の販売拡大、スプレッドの確保、固定費の抑制に努め、為替の効果もあり、過去最高益を更新しました。

経常利益は、為替差益の前年同期からの減少により減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益により過去最高益を更新しました。

#### ②事業セグメント別概況(2023年4月1日～12月31日)

##### 【住宅カンパニー】

売上高3,915億円(前年同期比+0.6%)、営業利益194億円(同△9.3%)

当第3四半期連結累計期間は、リフォーム事業、不動産事業の売上高が伸長しましたが、新築住宅事業において受注棟数が前年同期を下回り、売上高は前年同期並みとなりました。営業利益は為替影響を含む部材価格上昇により減益となりました。

受注については、新築住宅事業では、物価上昇による購買意欲減退の影響などにより、受注棟数は前年同期を下回りました。リフォーム事業では、営業体制強化や、蓄電池、断熱リフォームの拡販により、前年同期を上回りました。

施策面については、新築住宅、リフォーム、まちづくりの各事業でスマート&レジリエンスの訴求を図りました。また、新築住宅事業では、ウェブサイトと展示場・ショールーム・工場見学やイベントを連携したマーケティング活動に注力したほか、商品や分譲地のデザイン向上を図りました。リフォーム事業では、営業体制強化に努めました。また、リフォーム事業などの成長領域への人員シフトを中心とした、住宅事業の収益性強化策に着手しました。

##### 【環境・ライフラインカンパニー】

売上高1,694億円(前年同期比△0.1%)、営業利益139億円(同+4.9%)

当第3四半期連結累計期間は、国内住宅市況の低迷および労働力不足などによる非住宅の工事遅延の影響により、売上高は前年同期並みでしたが、スプレッドの確保や固定費抑制などにより、過去最高益を更新しました。

パイプ・システムズ分野では、国内住宅市況や塩素化塩ビ(CPVC)樹脂のインド市況が低調であったことに加え、非住宅の工事遅延の影響を受けましたが、スプレッドの確保と、需要が堅調な国内プラント用管材などの拡販に努め、分野全体での売上高は前年同期並みとなりました。また信越ポリマー株式会社からの管材事業の譲受けが完了しました。

住・インフラ複合材分野では、ユニットバス、雨といなどの住宅設備は需要が低調も、売値改善によるスプレッド確保に注力しました。合成木材(FFU)は、国内外での受注が順調に進捗しました。また10月に欧州のまくらぎ生産工場の稼働を開始しました。耐火・不燃材料は重点拡大製品を中心に需要が順調に推移し、分野

全体の売上高は前年同期並みとなりました。

インフラ・リニューアル分野では、管路更生の海外での順調な受注と出荷、国内の受水槽（パネルタンク）需要の回復などにより、分野全体の売上高は前年同期を上回りました。

【高機能プラスチックカンパニー】

**売上高3,062億円（前年同期比+2.3%）、営業利益375億円（同+21.5%）**

当第3四半期連結累計期間は、欧米や国内における建築・消費財需要の低迷の影響がありましたが、自動車関連の需要が回復したことや、為替の効果、売値の維持・改善に努めたことなどにより、増収・増益となりました。

エレクトロニクス分野では、スマートフォン市況については一定程度回復したものの、半導体関連の需要が回復せず、売上高は前年同期並みとなりました。

モビリティ分野では、売値の改善が進捗したことや自動車関連の需要の回復、ヘッドアップディスプレイ用を中心とした高機能中間膜の拡販などにより、売上高は前年同期を上回りました。また SEKISUI AEROSPACE 社の生産性改善の取り組みが進捗しました。

インダストリアル分野では、欧米や国内の建築・消費財需要の低迷を受け、売上高は前年同期を下回りました。

【メディカル事業】

**売上高673億円（前年同期比+3.1%）、営業利益80億円（同△9.4%）**

当第3四半期連結累計期間は、検査事業、医療事業ともに需要が堅調に推移したことで売上高は前年同期を上回りましたが、米国における新製品の拡販の遅れ、研究開発費の増加、原材料価格の高騰、製品構成などが影響し、減益となりました。

検査事業は、国内市場での感染症検査需要の増加や中国での血液凝固試薬の拡販などにより、売上高は前年同期を上回りました。

医療事業は、新規原薬の需要拡大に加え創薬支援事業の受注が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

**(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

通期の連結業績予想につきましては、国内住宅需要が想定を下回って推移した影響や為替などを勘案し、2023年10月30日に公表した予想数値を下表の通り修正します。

2024年3月期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2023年10月30日公表）	百万円 1,280,000	百万円 100,000	百万円 103,000	百万円 75,000	円 銭 176.31
今回予想（B）	1,262,300	95,000	103,000	75,000	177.98
増減額（B－A）	△17,700	△5,000	0	0	—
増減率（％）	△1.4	△5.0	0.0	0.0	—
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	1,242,521	91,666	104,241	69,263	159.19

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想（2024年3月期年間配当金 合計71円〈中間35円、期末36円〉）の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	101,080	111,179
受取手形	38,400	43,313
売掛金	153,380	155,648
契約資産	752	670
商品及び製品	104,091	112,659
分譲土地	64,154	65,113
仕掛品	62,604	68,140
原材料及び貯蔵品	55,950	56,429
前渡金	4,055	3,750
前払費用	8,414	4,797
短期貸付金	114	1,107
その他	29,616	25,399
貸倒引当金	△965	△1,081
流動資産合計	621,650	647,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	120,761	122,822
機械装置及び運搬具（純額）	109,933	113,462
土地	83,828	85,643
リース資産（純額）	19,961	21,395
建設仮勘定	31,338	31,694
その他（純額）	11,558	13,137
有形固定資産合計	377,381	388,155
無形固定資産		
のれん	11,028	8,883
ソフトウェア	15,614	15,558
リース資産	117	123
その他	24,242	32,575
無形固定資産合計	51,003	57,140
投資その他の資産		
投資有価証券	137,314	113,658
長期貸付金	1,163	1,094
長期前払費用	1,970	1,980
退職給付に係る資産	15,284	15,189
繰延税金資産	10,034	12,373
その他	14,483	17,111
貸倒引当金	△2,154	△1,359
投資その他の資産合計	178,096	160,049
固定資産合計	606,481	605,345
資産合計	1,228,131	1,252,474

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	759	787
電子記録債務	28,777	15,674
買掛金	107,067	105,275
短期借入金	3,569	11,776
1年内償還予定の社債	—	30
リース債務	5,156	5,170
未払費用	41,177	39,373
未払法人税等	11,817	19,541
賞与引当金	19,198	10,595
役員賞与引当金	354	360
完成工事補償引当金	3,105	2,568
株式給付引当金	115	83
前受金	53,514	61,650
その他	53,364	59,214
流動負債合計	327,978	332,102
固定負債		
社債	40,030	40,000
長期借入金	56,187	46,612
リース債務	15,515	17,080
繰延税金負債	4,046	1,156
退職給付に係る負債	42,731	42,888
株式給付引当金	900	1,026
その他	8,216	6,886
固定負債合計	167,627	155,651
負債合計	495,606	487,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,002	100,002
資本剰余金	108,583	108,621
利益剰余金	468,094	482,447
自己株式	△46,637	△48,678
株主資本合計	630,041	642,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,836	40,321
繰延ヘッジ損益	△24	△16
土地再評価差額金	321	320
為替換算調整勘定	39,253	55,821
退職給付に係る調整累計額	△2,402	△2,325
その他の包括利益累計額合計	74,984	94,121
非支配株主持分	27,498	28,205
純資産合計	732,525	764,720
負債純資産合計	1,228,131	1,252,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	912,231	923,931
売上原価	635,395	635,919
売上総利益	276,835	288,012
販売費及び一般管理費	214,369	222,178
営業利益	62,466	65,834
営業外収益		
受取利息	832	1,378
受取配当金	3,655	3,359
持分法による投資利益	1,061	—
為替差益	5,312	2,859
雑収入	3,138	2,199
営業外収益合計	13,999	9,797
営業外費用		
支払利息	595	860
持分法による投資損失	—	4
雑支出	2,442	1,951
営業外費用合計	3,038	2,816
経常利益	73,427	72,814
特別利益		
投資有価証券売却益	319	13,701
関係会社株式売却益	871	540
特別利益合計	1,191	14,242
特別損失		
固定資産除売却損	1,490	1,190
特別損失合計	1,490	1,190
税金等調整前四半期純利益	73,128	85,867
法人税等	19,237	26,337
四半期純利益	53,891	59,529
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,088	1,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,802	58,432

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	304,466	312,636
売上原価	210,444	212,775
売上総利益	94,021	99,861
販売費及び一般管理費	71,899	75,182
営業利益	22,122	24,678
営業外収益		
受取利息	343	483
受取配当金	450	543
雑収入	1,583	346
営業外収益合計	2,377	1,373
営業外費用		
支払利息	224	243
持分法による投資損失	141	387
為替差損	3,665	3,633
雑支出	941	508
営業外費用合計	4,972	4,773
経常利益	19,527	21,278
特別利益		
投資有価証券売却益	319	—
関係会社株式売却益	202	—
特別利益合計	521	—
特別損失		
固定資産除売却損	451	352
特別損失合計	451	352
税金等調整前四半期純利益	19,598	20,926
法人税等	5,489	6,458
四半期純利益	14,108	14,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	407	485
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,700	13,982

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	53,891	59,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,618	3,527
繰延ヘッジ損益	6	0
為替換算調整勘定	8,878	17,425
退職給付に係る調整額	△493	31
持分法適用会社に対する持分相当額	219	△1,003
その他の包括利益合計	6,991	19,982
四半期包括利益	60,883	79,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,385	77,569
非支配株主に係る四半期包括利益	1,497	1,942

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	73,128	85,867
減価償却費	36,527	37,801
のれん償却額	947	1,107
固定資産除却損	1,408	1,122
固定資産売却損益(△は益)	82	68
退職給付に係る資産負債の増減額	△233	236
投資有価証券売却損益(△は益)	△319	△13,701
関係会社株式売却損益(△は益)	△871	△540
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,468	△8,759
受取利息及び受取配当金	△4,488	△4,737
支払利息	595	860
持分法による投資損益(△は益)	△1,061	4
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	2,525	△1,771
棚卸資産の増減額(△は増加)	△39,894	△8,845
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,614	△20,045
前受金の増減額(△は減少)	14,793	8,004
その他	△3,141	2,782
小計	66,913	79,453
利息及び配当金の受取額	5,162	5,149
利息の支払額	△596	△967
法人税等の還付額	—	7,980
法人税等の支払額	△37,403	△26,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,076	64,753
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,265	△34,129
有形固定資産の売却による収入	1,455	571
定期預金の預入による支出	△14,158	△11,636
定期預金の払戻による収入	10,434	17,061
投資有価証券の取得による支出	△658	△791
投資有価証券の売却及び償還による収入	533	22,012
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,310	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,655	314
事業譲受による支出	—	△790
関係会社株式の売却による収入	—	16,739
無形固定資産の取得による支出	△7,402	△11,095
無形固定資産の売却による収入	1,094	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	173	△912
その他	254	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,194	△2,597
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,328	425
リース債務の返済による支出	△4,247	△4,319
長期借入れによる収入	—	5
長期借入金の返済による支出	△1,627	△1,904
配当金の支払額	△23,831	△27,846
非支配株主への配当金の支払額	△1,201	△1,211
自己株式の取得による支出	△25,198	△16,171
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,868	△3
その他	140	80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,505	△50,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,318	3,651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53,305	14,861
現金及び現金同等物の期首残高	133,739	85,207
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	8
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,433	100,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1・2)	合計
	住宅 (注1)	環境・ラ イフライ ン	高機能プ ラスチッ クス	メディカル	計		
売上高							
日本	390,415	131,518	84,658	33,883	640,476	1,415	641,892
北米	—	2,134	72,983	15,257	90,375	—	90,375
欧州	—	3,963	55,265	6,261	65,489	—	65,489
中国	—	3,909	51,123	9,962	64,995	1,017	66,013
アジア	949	16,604	33,559	1,348	52,461	48	52,509
その他	—	2,143	4,869	639	7,651	—	7,651
外部顧客への売上高	391,365	160,272	302,459	67,352	921,449	2,481	923,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	9,184	3,816	—	13,183	2,037	15,221
計	391,547	169,457	306,276	67,352	934,633	4,519	939,152
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	19,440	13,934	37,557	8,006	78,939	△7,987	70,951

(注1) 「住宅」の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額32,600百万円が「日本」に含まれています。

「その他」の区分の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額616百万円が「日本」に含まれています。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルム型リチウムイオン電池および報告セグメントに含まれない製品の製造、販売およびサービスを行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	78,939
「その他」の区分の利益	△7,987
セグメント間取引消去	296
全社費用(注)	△5,413
四半期連結損益計算書の営業利益	65,834

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## Ⅱ 当第3四半期連結会計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1・2)	合計
	住宅 (注1)	環境・ラ イフライン	高機能プ ラスチック クス	メディカル	計		
売上高							
日本	126,315	47,675	28,725	11,394	214,109	351	214,461
北米	—	873	24,312	6,071	31,257	—	31,257
欧州	—	1,153	18,405	2,049	21,608	—	21,608
中国	—	1,272	19,555	3,490	24,318	306	24,625
アジア	385	5,134	12,167	432	18,119	11	18,131
その他	—	815	1,501	236	2,553	—	2,553
外部顧客への売上高	126,700	56,924	104,667	23,674	311,967	669	312,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	2,878	1,329	—	4,227	667	4,895
計	126,721	59,802	105,997	23,674	316,195	1,337	317,532
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	6,468	5,876	14,585	2,880	29,811	△2,880	26,930

(注1) 「住宅」の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額10,896百万円が「日本」に含まれています。

「その他」の区分の売上高には、顧客との契約から生じる収益に該当しない額185百万円が「日本」に含まれています。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルム型リチウムイオン電池および報告セグメントに含まれない製品の製造、販売およびサービスを行っています。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,811
「その他」の区分の利益	△2,880
セグメント間取引消去	126
全社費用(注)	△2,378
四半期連結損益計算書の営業利益	24,678

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 参考資料

## (参考資料-1)2024年3月期 第3四半期連結累計期間実績

## 【ポイント】

- ・新築住宅需要が低迷も、高付加価値品の拡販、売値改善などにより、**売上高は過去最高を更新**
- ・営業利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、**最高益を更新**

## (1) 全社業績

## ①2023年4月～12月の9ヶ月間

(億円、%)

	2024年3月期 1Q-3Q	2023年3月期 1Q-3Q	増減(率)
売上高	9,239	9,122	117 ( 1.3 )
営業利益	658	624	33 ( 5.4 )
経常利益	728	734	△ 6 ( △ 0.8 )
親会社株主に帰属する 四半期純利益	584	528	56 ( 10.7 )

## ②2023年10月～12月の3ヶ月間

(億円、%)

	2024年3月期 3Q	2023年3月期 3Q	増減(率)
売上高	3,126	3,044	81 ( 2.7 )
営業利益	246	221	25 ( 11.6 )
経常利益	212	195	17 ( 9.0 )
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	137	2 ( 2.1 )

## (2) 事業セグメント別業績

## ①2023年4月～12月の9ヶ月間

(億円、%)

	2024年3月期1Q-3Q		2023年3月期1Q-3Q		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	3,915	194	3,891	214	23 ( 0.6 )	△ 19 ( △ 9.3 )
環境・ライフライン	1,694	139	1,696	132	△ 1 ( △ 0.1 )	6 ( 4.9 )
高機能プラスチック	3,062	375	2,994	309	68 ( 2.3 )	66 ( 21.5 )
メディカル	673	80	653	88	20 ( 3.1 )	△ 8 ( △ 9.4 )
その他	45	△ 79	56	△ 82	△ 11 ( △ 19.8 )	2 ( — )
消去又は全社	△ 152	△ 51	△ 169	△ 37	17 ( — )	△ 13 ( — )
合計	9,239	658	9,122	624	117 ( 1.3 )	33 ( 5.4 )

## ②2023年10月～12月の3ヶ月間

(億円、%)

	2024年3月期3Q		2023年3月期3Q		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	1,267	64	1,289	66	△ 22 ( △ 1.8 )	△ 1 ( △ 2.9 )
環境・ライフライン	598	58	592	58	5 ( 1.0 )	0 ( 0.2 )
高機能プラスチック	1,059	145	979	104	80 ( 8.2 )	41 ( 39.2 )
メディカル	236	28	224	33	12 ( 5.5 )	△ 4 ( △ 14.2 )
その他	13	△ 28	14	△ 28	△ 1 ( △ 10.2 )	△ 0 ( — )
消去又は全社	△ 48	△ 22	△ 55	△ 14	6 ( — )	△ 8 ( — )
合計	3,126	246	3,044	221	81 ( 2.7 )	25 ( 11.6 )

為替レート		2023年度		
		上期	3Q	4Q
US\$	想定	139	145	144
	実績	141	148	—
€	想定	151	158	158
	実績	153	159	—
		2022年度		
		上期	3Q	4Q
US\$	想定	126	135	136
	実績	134	142	137
€	想定	136	137	144
	実績	139	144	143

## (3) 全社概況(2023年4月～12月の9ヶ月間)

- ◆新築住宅需要の低迷が続くも、自動車生産、スマートフォン出荷台数などは一定程度回復
- ◆高付加価値品の販売拡大・スプレッドの確保・固定費抑制により、高機能プラスチックが増益、環境・ライフラインは最高益更新

## (4) 事業セグメント別概況(2023年4月～12月の9ヶ月間)

## 【住宅】

ストック事業が拡大も、新築受注棟数の減少や、為替を含む部材価格上昇の影響を受け、増収・減益

- ◆住宅事業
  - ・受注棟数は前年同期比3Q累計87%、同3Q93%
  - ・エリア別の商品展開強化。首都圏向け省エネ・子育て住宅(11月)、地方向け平屋・多雪エリア商品(10月)を発売
- ◆ストック
  - ・リフォームは、営業体制拡充や重点商材(断熱など)拡販により、受注高は前年同期比3Q累計107%
- ◆収益性強化策
  - ・収益性強化策に着手。3Qは住宅事業の固定費抑制、リフォーム事業にシフトした人材の育成が着実に進捗

## 【環境・ライフライン】

国内住宅需要低迷、非住宅工事遅延も、重点拡大製品拡販、スプレッド確保などにより増益を確保

- ◆パイプ・システムズ
  - ・国内住宅市況の低調が続く、非住宅の物件進捗遅れが影響も、重点拡大製品拡販とスプレッド維持
  - ・プラント用管材は国内中心に堅調に推移、海外はインドでの塩素化塩ビ(CPVC)樹脂の需要低迷の影響を受ける
  - ・信越ポリマー株式会社からの管材事業譲受け完了
- ◆住・インフラ複合材
  - ・住宅需要低迷の影響を受けるも、売値改善によりスプレッドを確保。合成木材(FFU)は国内外での受注が堅調
- ◆インフラ・リニューアル
  - ・管路更生、受水槽(パネルタンク)ともに順調に推移

## 【高機能プラスチック】

欧州・国内の市況低調も、モビリティ分野での高機能品の拡販、売値改善、固定費抑制、為替差益効果などにより増益

- ◆エレクトロニクス
  - ・スマホ市況は徐々に回復も、半導体需要は低迷が続く中、非液晶製品の拡販が進捗
- ◆モビリティ
  - ・ヘッドアップディスプレイ用中間膜を中心とした高機能品の拡販が順調に進捗、為替の効果もあり増収
  - ・AEROSPACE社は、生産性改善に注力
- ◆インダストリアル
  - ・欧米および国内の建築・消費財需要の低迷を受けて減収

## 【メディカル】

堅調な国内検査需要や、中国での血液凝固試薬の拡販により増収も、米国新製品の拡販遅れ、製品構成などにより減益

## (参考資料-2)2024年3月期 通期見通し

## 【見通し】

- ・住宅需要低迷により全社の売上高・営業利益は下方修正も、**増収・営業増益。当期純利益は見通し通り最高益更新へ**
- ・環境・ライフライン、高機能プラスチック、メディカルは**最高益更新へ**
- ・配当は見通し通り、**期末36円(6円増配)、年間71円(12円増配)・14期連続の増配へ**

## (1)全社業績見通し

## ①通期

(億円、%)

	2024年3月期見通し	2023年3月期実績	増減(率)
売上高	12,623 [ 12,800 ]	12,425	197 ( 1.6 )
営業利益	950 [ 1,000 ]	916	33 ( 3.6 )
経常利益	1,030 [ 1,030 ]	1,042	△ 12 ( △ 1.2 )
親会社株主に帰属する当期純利益	750 [ 750 ]	692	57 ( 8.3 )
1株当たり配当金(通期)	71円 [ 71円 ]	59円	12円
同(第2四半期末)	35円 [ 35円 ]	29円	6円
同(期末)	36円 [ 36円 ]	30円	6円

注: [ ]内は2023年10月30日公表の従来予想数値

## ②4Q(2024年1月~3月)

(億円、%)

	2024年3月期4Q見通し	2023年3月期4Q実績	増減(率)
売上高	3,383	3,302	80 ( 2.4 )
営業利益	291	291	△ 0 ( △ 0.1 )
経常利益	301	308	△ 6 ( △ 2.0 )
親会社株主に帰属する四半期純利益	165	164	1 ( 0.6 )

## (2)事業セグメント別業績見通し

## ①通期

(億円、%)

	2024年3月期見通し		2023年3月期実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	5,283 [ 5,390 ]	270 [ 295 ]	5,373	328	△ 90 ( △ 1.7 )	△ 58 ( △ 17.8 )
環境・ライフライン	2,373 [ 2,377 ]	232 [ 232 ]	2,342	211	30 ( 1.3 )	20 ( 9.5 )
高機能プラスチック	4,155 [ 4,197 ]	515 [ 515 ]	3,963	400	191 ( 4.8 )	114 ( 28.5 )
メディカル	941 [ 959 ]	126 [ 135 ]	896	125	44 ( 4.9 )	0 ( 0.7 )
その他	79 [ 90 ]	△ 115 [ △ 110 ]	73	△ 108	5 ( 6.9 )	△ 6 ( — )
消去又は全社	△ 208 [ △ 213 ]	△ 78 [ △ 67 ]	△ 226	△ 40	18 ( — )	△ 37 ( — )
合計	12,623 [ 12,800 ]	950 [ 1,000 ]	12,425	916	197 ( 1.6 )	33 ( 3.6 )

## ②4Q(2024年1月~3月)

(億円、%)

	2024年3月期4Q見通し		2023年3月期4Q実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	1,367	75	1,482	114	△ 114 ( △ 7.7 )	△ 38 ( △ 33.7 )
環境・ライフライン	678	92	646	79	31 ( 4.9 )	13 ( 17.2 )
高機能プラスチック	1,092	139	969	91	122 ( 12.7 )	47 ( 51.9 )
メディカル	267	45	243	36	23 ( 9.8 )	9 ( 25.2 )
その他	33	△ 35	17	△ 26	16 ( 93.0 )	△ 8 ( — )
消去又は全社	△ 55	△ 26	△ 56	△ 3	0 ( — )	△ 23 ( — )
合計	3,383	291	3,302	291	80 ( 2.4 )	△ 0 ( △ 0.1 )

## (3)全社施策(2024年1月~3月)

- ◆自動車生産やスマートフォン販売台数などの一定の回復を見込み、高付加価値品の販売拡大、コスト削減、スプレッドの確保に注力
- ◆新築住宅市場の縮小に対応し、住宅事業の損益分岐点を下げる収益性強化策の推進をさらに加速、前倒しで効果発現
- ◆長期の成長を見据えた先行投資を継続(ペロブスカイト太陽電池・BRの事業化推進、DX投資、研究開発強化、人的資本投資など)

## (4)事業セグメント別施策(2024年1月~3月)

## 【住宅】

## 新築受注棟数減少の影響を受け、減収・減益。持続的成長に向けた収益性強化策を推進

- ◆住宅事業
  - ・受注棟数は、前年同期比4Q95%、同下期94%、同通期89%を計画
  - ・戸建商品で断熱等級6仕様を標準化(1月)。都市部向け3階建商品など、引き続きエリア別商品展開を強化
- ◆ストック
  - ・リフォーム受注高は前年同期比下期107%、通期同107%を計画。人材の育成、重点商材拡販に注力
  - ・ストック事業の業容拡大を推進。一般市場向けリフォーム事業、中古住宅の買取再販などに注力
- ◆収益性強化策
  - ・人材シフトによるストック事業の成長加速、生産会社(北海道)の運営一体化、木質系商品の生産体制最適化の効果発現

## 【環境・ライフライン】

## 重点拡大製品の拡販および海外事業の拡大に注力。スプレッド維持を徹底し、増収・通期最高益更新へ

- ◆パイプ・システムズ
  - ・省人化対策に資する配管材などの重点拡大製品拡販とスプレッド維持の継続
  - ・プラント用管材の受注拡大と塩素化塩ビ(CPVC)樹脂の販売地域の拡大
- ◆住・インフラ複合材
  - ・耐火・不燃材料、大型高排水システムなどの重点拡大製品の拡販と新製品の受注拡大
  - ・合成木材(FFU)は、欧州工場の安定稼働とさらなる受注拡大
- ◆インフラ・リニューアール
  - ・インフラ老朽化対策に資する管路更生などの重点拡大製品の国内外での拡販

## 【高機能プラスチック】

## 市況低調も、モビリティ分野が牽引、為替差益もあり、増収・通期最高益更新へ

- ◆エレクトロニクス
  - ・半導体市況の回復は想定より遅れるも、回復基調にあるスマートフォン関連需要獲得に注力
  - ・非液晶分野では、MLCC向けバインダー樹脂、バイオベーステープなどの高機能品拡販により増収目指す
- ◆モビリティ
  - ・ヘッドアップディスプレイ用を中心に高機能中間膜の販売拡大
  - ・AEROSPACE社は、航空機需要減退の影響はあるも新規需要の獲得に注力
- ◆インダストリアル
  - ・市況の一定の回復を見込み、フォーム材や長尺クラフトテープなどの省力化製品や環境対応製品の拡販に注力

## 【メディカル】

## 国内外検査需要の確実な獲得、米国感染症領域での製品拡販や医療事業での新規受注獲得により増収・通期最高益更新へ